### Analysis of Student's Mistakes in Japanese Practice Test  
  
---  
  
\*\*1.1 Kanji/Vocabulary Related Mistakes\*\*  
  
\*\*1.1.1 Kanji/Vocabulary Recognition Mistake\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 1 ＿＿＿の ことばは ひらがなで どう かきますか。

1・2・3・4から いちばん いいものを ひとつ えらんで ください。

- \*\*Sentence:\*\* 紙に 名前と 住所を 書いて ください。

- \*\*Options:\*\*  
 - 1. じゅしょう  
 - 2. じゅうしょう  
 - 3. じゅうしょ  
 - 4. じゅしょ  
- \*\*Correct Answer:\*\* 3. じゅうしょ  
- \*\*Student's Answer:\*\* 2. じゅうしょう  
  
\*\*Mistake Analysis:\*\* The student confused the pronunciation of the kanji for "住所" which should be "じゅうしょ" (option 3), choosing instead "じゅうしょう" (option 2). This indicates a need for better familiarity with common vocabularies and their correct readings.  
  
---  
  
\*\*1.2 Grammar Mistakes\*\*  
  
\*\*1.2.1 Usage of Appropriate Phrases\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 4 ＿＿＿の ぶんと だいたい おなじ いみの ぶんが あります。

1・2・3・4から ひとつ えらんで ください。

- A: 「よく いらっしゃいました。

どうぞ。

」  
- B: 「（ 　　　　　 ）。

」  
 - 1. いただきます  
 - 2. どういたしまして  
 - 3. おじゃまします  
 - 4. こちらこそ  
- \*\*Correct Answer:\*\* 3. おじゃまします  
- \*\*Student's Answer:\*\* 1. いただきます  
  
\*\*Mistake Analysis:\*\* The student chose "いただきます" which is typically used before eating a meal, instead of "おじゃまします", which is the appropriate phrase used when entering someone's home. This mistake suggests the student lacks understanding of situational phrases and their correct usage.  
  
---  
  
\*\*1.2.2 Contextual Understanding\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 4 ＿＿＿の ぶんと だいたい おなじ いみの ぶんが あります。

1・2・3・4から ひとつ えらんで ください。

- \*\*Sentence:\*\* この おちゃは、へんな あじが する。

- 1. この おちゃは、 あじが いいです。

- 2. この おちゃは、 あじが おかしいです。

- 3. この おちゃは、 とても おいしいです。

- 4. この おちゃは、 あまり おいしくないです。

- \*\*Correct Answer:\*\* 2. この おちゃは、 あじが おかしいです。

- \*\*Student's Answer:\*\* 4. この おちゃは、 あまり おいしくないです。

\*\*Mistake Analysis:\*\* The student confused the phrase "へんな あじが する" (which means "tastes strange") and chose an option that implies the tea is not tasty. The correct answer should reflect the odd or strange taste, not just that it isn't delicious. This indicates issues with understanding subtle nuances in context.  
  
---  
  
\*\*1.2.3 Proper Usage of Adverbs\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 1 （ 　　　　　 ）に 何を 入れますか。

1・2・3・4から いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

- \*\*Target Word:\*\* ずいぶん  
 - 1. てんきが わるいですね。

あしたは ずいぶん あめでしょう。

- 2. プレゼントを もらって、 ずいぶん うれしかったです。

- 3. まいにち れんしゅうして いますが、 ずいぶん じょうずに なりません。

- 4. この ホテルは 駅から ずいぶん とおいですね。

- \*\*Correct Answer:\*\* 4. この ホテルは 駅から ずいぶん とおいですね。

- \*\*Student's Answer:\*\* 2. プレゼントを もらって、 ずいぶん うれしかったです。

\*\*Mistake Analysis:\*\* The adverb "ずいぶん" (meaning "very" or "quite") was misused. The student failed to select the context where "ずいぶん" appropriately describes a significant distance, showing a misunderstanding of the adverb's correct applications.  
  
---  
  
\*\*1.2.4 Causal Particle Usage\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 1 （ 　　　　　 ）に 何を 入れますか。

1・2・3・4から いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

- \*\*Sentence:\*\* かれが 手伝って （ 　　　　　 ） 宿題 (しゅくだい) が 終わらなっかった。

- 1. もらったから  
 - 2. くれなかったから  
 - 3. ほしいから  
 - 4. ほしかったから  
- \*\*Correct Answer:\*\* 2. くれなかったから  
- \*\*Student's Answer:\*\* 1. もらったから  
  
\*\*Mistake Analysis:\*\* The student incorrectly chose "もらったから" which indicates the assistance was received, contradicting the sentence's context which implies lack of help. The correct answer reflects the reason for not finishing the homework due to not receiving help, highlighting a misunderstanding of causal particles.  
  
---  
  
\*\*1.2.5 Conjunctions and Connective Patterns\*\*  
  
\*\*Question:\*\* 1 （ 　　　　　 ）に 何を 入れますか。

1・2・3・4から いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

- \*\*Sentence:\*\* 雨が 少ない （ 　　　　　 ）、 やさいが 大きくなりません。

- 1. より  
 - 2. すぎて  
 - 3. ため  
 - 4. けど  
- \*\*Correct Answer:\*\* 3. ため  
- \*\*Student's Answer:\*\* 4. けど  
  
\*\*Mistake Analysis:\*\* The student chose "けど" (which means "but"), instead of "ため" (which means "because"). This misselection shows a failure to properly use conjunctions indicating cause and effect, crucial for constructing logical sentences.  
  
---  
  
By thoroughly analyzing the student's mistakes in the context of kanji/vocabulary recognition and grammar usage, it becomes clear where the student needs further instruction and practice. Specifically focusing on situational phrases, understanding nuanced context, proper adverb usage, causal relationships, and correct conjunctions will help in mitigating these errors in the future.